

根津記念館・開館

根津記念館は《鉄道王》と称された根津嘉一郎氏、根津家一族の大邸宅を復原したもので、ちょうど神無月十三夜10月11日(土)に開館したので、ご紹介します。〔この写真編集版の後半では、約2年前から撮影してきたものも掲載〕敷地約6,700㎡で、国の有形文化財の長屋門、主屋、三階建土蔵など昭和初期の建造物と(設計図によって)復原した青山荘と茶室があり、和風建築の粋をこらしたものだそうです。

根津嘉一郎氏は万延元年(1860年)6月15日に、甲斐國山梨郡正徳寺村(現・山梨県山梨市)の農家に生まれ、東山梨郡役所の書記、後に村会議員、村長を歴任した。明治30年代に東京に進出し、若尾逸平、雨宮敬次郎氏と知り合い、甲州財閥を形成した。明治38年に東武鉄道の社長に就任し、経営再建を行う。資本関係を持った鉄道会社は24社に及び、多くの会社で社長などに就任した。「社会から得た利益は社会に還元する義務がある」という信念のもと、大正11年に旧制武蔵高等学校創設し、教育文化振興に寄与した。特に、山梨県下の全小学校に200台のピアノとミシンを寄贈するなど、山梨県に対しても、教育文化振興に寄与した。

山梨市の名誉市民第一号だそうです。



2008. 10. 11 開館日の朝





西方向 南アルプス3000m超の白根三山



北方向には 地元の山々





2008. 10. 11 開館日の夜



ちょうど
十三夜で 13個のお団子も



2008. 10. 11



← 十三夜の月のアップ

↑ 十三夜の月

すぐ近く～JR中央本線の踏切
と 兜山(かぶとやま)

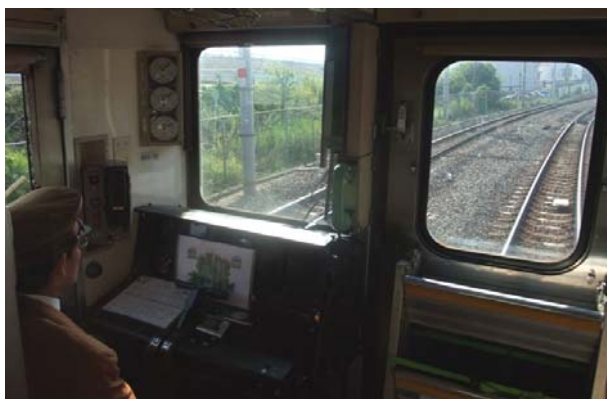


永昌院「山梨市」開山:神獄通龍禪師 500回忌法要
開基:武田信昌(信玄の祖父) 500回忌が10月26日



根津嘉一郎氏の頃は
★甲州葡萄だけかも～
周辺はフルーツ山梨・桃や葡萄畑

根津嘉一郎氏と云えば 東武鉄道 2008. 10. 5 撮影
 今の東武鉄道を ちょっと 追ってみました。



東武鉄道の乗務員



会津田島&日光方面行き車内



東武鉄道 栗橋駅



東武特急 両毛号
浅草行き
東武動物公園駅



東武鉄道 会津田島&日光方面行

根津嘉一郎氏が生まれ育った山梨には...

★山梨県はフルーツ天国。
 桃、葡萄、さくらんぼ、柿を
 干した美味・桔露柿など...
 諸々多種の果樹栽培が
 とても盛んなところですよ。
 海がないけれど鮑煮や烏賊など
 ★魚介類の加工食品が盛ん。



四つの葡萄は甲州・ベリーA・種なしピオーネ・デラウェア

2008.10.16 撮影



山梨市・万力公園
根津嘉一郎氏銅像



2006. 7. 17 撮影

ここからは 開館前の様子を順に振り返ってみます。



2007. 5. 19 撮影

約1年半前には何やら～整備の気配を感じました。



2008. 7. 21 撮影

約3ヶ月前 工事がどんどん進行しています。



2008. 8. 10 撮影

約2ヶ月前 遂に開館を知らせる看板も。関係者の皆様、ご苦労様です。





近くのやすらぎ農園～美味しい桃

* 根津記念館の開館に合わせて、根津記念館のパンフレット等も一部利用して、作成したものです。



根津記念館・開館の日 甲府盆地周辺は収穫の秋
真っ盛り、各地で、稲刈り(白米・黒米・赤米)作業も。
コシヒカリなど～白米・黒米・赤米(赤とんぼ休憩中)



永昌院付近から
根津記念館方面を展望

